

小松崎 ふみよし 政策ジャーナル *Journal*

第7号

議員になってこの一年間で、私の一番の感想は千葉市にはお金がないなあ…ということです。市の平成18年度普通会計は赤字となり、借金の指標の実質公債比率も横浜市について政令指定都市の中で下から2番目です。実は私は選挙中に出していた公約や政策よりも、多くの具体的な政策を、発表するつもりでした。かなり厳しい財政状況とは聞いていましたが、議員になってはじめて知ったことは、千葉市版の「埋蔵金」といわれていた、市役所庁舎の建て替え準備金や、その他基金と呼ばれる埋立地の売却益もほとんどがなくなっていました。但し、暗い話ばかりなわけではなく、借金が多いということは整備については済んでいる点が多いということです。例えば、千葉市以外の県内の市町村は下水道に関して借金は少ないと、整備率が極めて低い、千葉市の97%を超える整備率は政令指定都市の中でも決して引けをとりません、市民の平均所得は、さいたま市に次いで全国の政令指定都市でも2番目で、あの横浜市を凌ぐ高水準となっています。そこで今後は高い平均所得を生かし、無駄な出費を抑えながら具体策を考えていきます。



公立保育所でも園舎の老朽化等が進み園児の安全のためにも耐震化工事か民営化による建て替えが急務となっています。



平成20年第2回定例会 一般質問

(平成20年6月18日(水)13:00から)

今回の質問のポイント



1、安心・安全なまちづくりについて

井戸とジェネレーターのマッチングによる災害時の水の確保とマンホール用トイレ設置の推進

火災時の避難の遅れによる死亡件数の削減のためには、住宅用火災警報器等が有効であり、その普及状況を確認し、更に広報する必要がある。井戸水の活用については、一般の家庭用の井戸水道は簡単なコンセントで使用が可能だが、井戸とジェネレーターはセットになってはじめて効力を持つ。本年、市は10機のジェネレーターを準備したが、十分とはいえず、公費ですべて賄うには財政上無理があり、防災井戸のように広報によって、災害時のジェネレーターの提供も呼びかけ、井戸とジェネレーターのマッチングまで要望すべきである。自主防災会の防災器具購入補助金において購入選定のより詳細な指導。また新宿小学校にはマンホール用トイレが設置されることだが、市内の各避難所へも設置。



災害時には電気も使用できなくなると想定されます。当事務所でも発電機を設置すればコンセントで簡単に井戸の水を汲み上げる事が出来ます。

2、ごみの減量と再資源化について

剪定枝の再資源化における民間処理の活用と地域事情に即した回収モデル事業の実施

剪定枝の再資源化についてはバイオマス資源や発電の燃料として活用する民間事業者も有り。様々な技術が応用されつつあり、民間処理も含め、再資源化に積極的に取り組んでいただきたい。

回収方法については、拠点回収、戸別回収のいずれにしても、剪定時期の季節や曜日によって排出時間が集中することが考えられ、郊外では回収拠点が確保しやすい、また団地型住宅においては、行政や管理組合等が、事業系の廃棄物として出すケースも想定される。地区の事情も検討し、早期のモデル事業の実施。

3、全国統一形式の学力テストについて

学習・読書意欲向上と学校の校庭・体育館開放推進による運動意欲の向上

全国統一形式の学力テストの結果について、学習・読書意欲向上を一層すすめてほしい、予算議会の分科会で発言した通り、子供の体力づくりの施策を考えるのであれば休み時間や放課後、球技などを規制している学校があると聞く。安全上問題があるというなら、曜日を決めるなどして、学習意欲だけではなく、運動意欲の向上も予算をかけずに、行うべき。

4、「公立保育所のあり方(案)」について

民間保育園の新設と建て替えの必要な公立保育所の民営化による、待機児童解消と耐震化

公立保育園の民営化については、より正しい理解が必要であり、郵政民営化の同じ手法と混同している。もともと民間保育所は市の管轄でやっているにもかかわらず、市が責任を持つべき、などの認識不足な発言や、既に、裁判で民営化自体は違法ではない、と判決が出ているものを違法であるとするなど、とにかく誤解が多い、予算は限られており、現状何が本当に必要かを考え、園舎の建て替えが必要な施設や新規の保育園に関しては、民間の法人の力を活用して、早期の待機児童の解消を要望する。

1 安心・安全なまちづくりについて 住宅用火災警報器の普及促進について（消防局長答弁）

普及促進の成果は？

新築住宅は平成 18 年 6 月から義務設置とし、年間約 5 千世帯に、公営賃貸住宅 4 万 6 千世帯設置済。平成 19 年 4 月から平成 20 年 5 月末に約 7 万 5 千個販売。インターネット調査では「設置義務を知っている」約 80%。設置率は約 56% と普及促進効果は現れている。

今後の普及促進の方策は？

「住宅用火災警報器等設置に関する普及促進の基本方針」施策の継続と町内自治会等の設置状況の把握や各種イベント、講習会でのアンケート調査に努め、その結果による住宅用火災警報器共同購入の促進。市内全世帯に普及が図られる施策を展開していいる。



◆ 災害用マンホールトイレ
(東京都北区)
災害時には、マンホールの蓋をはずし便器を取り付けテントを設置すれば、写真のような仮設トイレとして使用できます。

安心・安全なまちづくりについて 災害時のライフラインについて（市民局長・下水道局長答弁）

阪神淡路大震災の際、災害派遣から得た対策は？

- 支援活動の為、250 人以上の職員を派遣。
- 上水道復旧までの対策は、各中学校区に自家発電機付非常用井戸を 56 施設、耐震性井戸付き貯水槽増設。
- 災害時の給水所として、公募で井戸所有者の防災井戸の指定。民間事業者と飲料水の供給協定の締結。

非常用井戸の管理状況、公募の井戸提供の手続は？

- 小学校の自家発電機付非常用井戸は、年 1 回自家発電機点検と年 6 回定期水出し試験。公園等の耐震性井戸付き貯水槽は、年 3 回ポンプ設備等定期点検実施。
- 井戸の水質検査は、一般細菌と大腸菌検査を含む 10 項目を年 1 回実施。
- 公募での井戸の提供手続は、市政だよりやホームページを通じて募集、市において水質検査を実施し、飲用水として適当と判断された場合、防災井戸に指定。

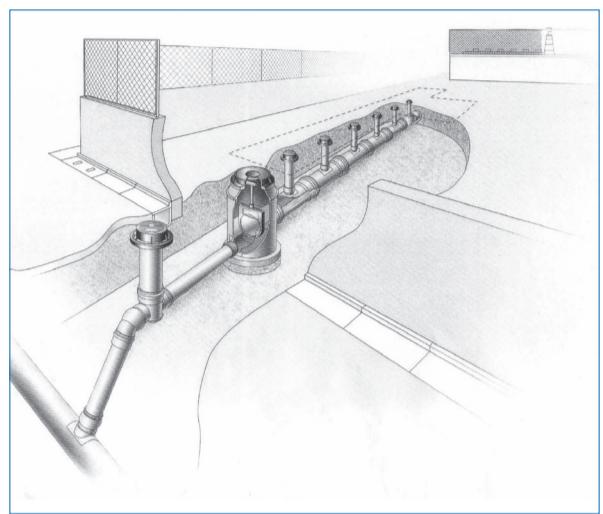
4. 本年度より、第 2 次 5か年計画として、発電機を 10 台ずつ整備。

マンホールトイレの取り組みは？

現在、下水道へ直接放流可能なマンホールトイレを、今年中に新宿小学校に設置すべく、関係機関との調整を進めている。



◆ 災害時には多くの水洗式トイレが使用できなくなると想定されます。



新宿小学校に設置予定のマンホールトイレシステム。

2 ごみの減量と再資源化について 剪定枝の回収・再資源化（環境局長答弁）

これまでの取組状況は？

平成 19 年度は、約 39 トンの堆肥化処理を民間事業者に委託し、30L の袋で 500 袋の堆肥を作成。この堆肥を「緑と花の地域リーダー」の皆様などに無償配布。

拠点回収、申込制回収のメリット、デメリットは？

拠点回収では、回収効率が高くなるが、スペースの確保が必要。また、申込制による戸別回収については、市民は電話などで申し込むが、回収効率が低くなると考えられる。

今後の取組方法については？

地域別発生量調査、収集運搬方法や再資源化手法の検討、再資源化不適当樹木の調査、拠点回収や申込制回収の収集運搬方法や再資源化手法の検討、再資源化収集処理コスト試算等の実施、事業者の市内立地調査。来年度モデル事業を実施の予定。

3 教育の諸問題について 子どもたちの学力向上について（教育次長答弁）

本年度の調査の状況については？

本年度の「全国学力・学習状況調査」では、「全小学校 6 年生約 8,700 人」「全中学校 3 年生約 7,300 人」が参加し、昨年度と同様に「国語」と「算数・数学」の 2 教科で「知識」と「活用」を問う 2 種類の問題と「児童・生徒及び学校」を対象とした、生活習慣や学習環境等の質問紙調査を実施。

拠点回収、申込制回収のメリット、デメリットは？

これまでの取組みが成果を上げているので本市教育施策の一層の推進に努めている。また「早寝・早起き・朝ごはんの習慣化」など生活習慣と学力の関係等について、保護者向けにパンフレットを作成し、啓発に努める。

昨年度調査の結果活用については？

昨年度は児童生徒の「学力状況」、「学習意識や生活習慣と学力との関係」を分析し、指導上の課題報告書を各学校に配布し、学習改善に役立て、意識調査から「児童生徒の学習意欲や読書時間が全国平均を上回っていること」「学校図書館を活用した授業を計画的に行っている学校が多いこと」など、

今年度の調査に係る本市の取組みについては？

文部科学省委託を受け、「千葉市学校改善委員会」を設置し、指導の在り方を中心に調査結果分析し、調査活用協力、小中学校 10 校を指定し、学習内容に適した指導方法の検討、「学力育成の教育課程改善」、「保護者・地域と連携した学校改善」等を研究し、その成果まとめ、学校に配布している。

今後の取組方法については？

地域別発生量調査、収集運搬方法や再資源化手法の検討、再資源化不適当樹木の調査、拠点回収や申込制回収の収集運搬方法や再資源化手法の検討、再資源化収集処理コスト試算等の実施、事業者の市内立地調査。来年度モデル事業を実施の予定。



放課後の校庭利用の拡充を進めましょう。

4 子育て支援について 保育所のあり方について（保健福祉局長答弁）

民間保育園の良さや実績を指摘する意見の有無は？

伝統があり、実態をよく見てももらいたい。民間保育園に通っていたが、保育士をはじめ、スタッフは頑張っている。

策定に向け、児童福祉専門分科会は、今後どのように進めていくのか？

臨時委員として市民・保護者、子どもたちと身近に接する立場にある公立・民間の保育士 8 人を加え、市民説明会でのご意見などを踏まえ、審議する

公立保育所の民営化を推進すべきか？

平成 19 年 4 月、17 政令市中 13 市がすでに民営化を実施しており、他の 4 市中 3 市においては民営化の方針を検討中。本市も引き続き待機児童の解消や多様な保育サービス充実に向け、効率的・効果的な保育所運営の為に、民間の積極的な活用は必要であると考えている。

小松崎ふみよしプロフィール

昭和 45 年生 (1970)4 月 30 日生まれ

- 稻毛幼稚園卒業（現在 評議委員）
- 千葉市立山王小学校卒業
- 千葉市立犢橋中学校卒業
- 千葉県立千葉北高等学校卒業（現在 同窓会副委員長）

- 法政大学法学部法律学科卒業（現在 校友会千葉中央支部常任顧問）
- 衆議院議員臼井日出男秘書 10 年
- 公設第一秘書にて退職
- 千葉市議会議員（稻毛区選出）総務副委員長
- 自由民主党千葉支部連合青年部長
- 千葉市第 37 地区町内自治会連絡協議会顧問
- 千葉市少年軟式野球協会顧問、山王 FC 会長
- 千葉市廃棄物減量等推進審議会委員、他

皆様のご意見等をお待ちしています。

〒263-0002 千葉市稻毛区山王町 112-1
電話 043-424-0001 FAX 043-421-6667
URL : <http://www.2344.jp/>
mail:fumiyoishi@joy.hi-ho.ne.jp
事務所開設時間 月・火・木 10:00-12:00 13:00-16:00
(尚、不在の際は小松崎本人の携帯に転送されます。)